

平成30年度 兎塚小 学校経営方針

学校教育目標

「ふるさとを愛し、主体的に考え行動できる、自立した子」

手をつなぐ

考えをつなぐ

心をつなぐ

子どもにとって兎塚小学校は、

全ての子どもが、達成感と安心感を実感できる学校

- ・どの子どもが、授業で「わかった」「できた」と実感できる。
- ・一人一人のよさを認め合え、大切にされ安心できる。
- ・一人一人の子に居場所と存分に力を発揮できる場がある。

保護者にとって兎塚小学校は、

安心してわが子を任せられ、学校と手をつないで協力できる学校

- ・毎日、子どもが喜んで登校する。
- ・子ども一人一人のよさや可能性を伸ばしてくれる。
- ・どの子にも誠実で親身になって対応し、素早い対応がされる。

地域にとって兎塚小学校は、

地域の宝であり、協働したいと思える学校

- ・地域での子どもが、素直で明るく元気である。
- ・地域の行事や活動に積極的に参加し、地域を活性化させる。

教職員にとって兎塚小学校は、

職場が明るく、教職員が手をつなぎ合い、協力的で働き甲斐のある学校

- ・どんなことでも話し合え、組織的に子どもを支え合える。
- ・無理のない勤務で生き生きと笑顔で働くことができる。

主体性を育てる 『自分からやる』

笑顔いっぱい。 ありがとういっぱい。 仲間を大切に！

◎本年度重点課題

(1) 人権教育・道徳教育の充実を図り、思いやりの心と共に生きる態度を育てる

- ・みんなで支え合いつながり合える学級経営を行う。
- ・あいさつは自分から。おもいやりとおもてなしの心を育てる。
- ・いじめの未然防止、早期発見に努め、共生の心を育てる。
- ・認め合い・磨き合い 『対話できる』の道徳授業の推進。

(2) きめ細かな指導等指導方法を工夫改善し、楽しく分かる授業の創造する

- ・学習の見通し、振り返りの活動やほめる指導等を取り入れ主体的に学ぶ態度を育てる。
(学習意欲の喚起・予習・自主学習のすすめ)
- ・少人数指導の利点を生かした個に応じた指導を充実させる。(学習タイムの充実)
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、児童が主体となる「課題解決的な学習」や互いに高め合う『協同学習』を取り入れた授業を推進する。
- ・4つの基礎的汎用的な能力を育て、見通しをもち、かかわり合い、やりぬく体験を大切にし、自立をめざしたキャリア教育を推進する。
- ・どの教科、授業にも『言語活動の時間』を設定し、思考・判断・表現力を育成する。
- ・スーパー連携チャレンジプランの合同授業を充実深化させる。
- ・ICTを活用した授業を積極的に推進する。
- ・外国語活動(外国語)・国際交流を充実させるために、学習方法の研究を進める。

(3) 運動や食育を通じた「健やかな体」を育成する

- ・日常的に運動する機会を増やすとともに、体育授業の工夫充実を図り、体力向上を図る。
- ・PTA・子ども会・スポーツクラブ21と連携し、地域の特性を生かした運動を推進する。
- ・食育研究の成果を生かし、地域とつながり、感謝の心と命の大切さの分かる実践を深化する。

(4) 一人一人の教育的ニーズに合ったきめ細かく適切な教育的支援を行う

- ・一人一人の特性・実態に即した支援体制を確立する。
(校内委員会、コーディネーター、交流学習、教育支援員、通級・特別支援学校との連携)
- ・研修の充実と個別の指導計画の推進を図る。(目標、指導方法、関係機関、校内研修)

(5) 家庭や地域社会、校種間の連携を強化する

- ・生活習慣、学習習慣、読書習慣定着などの取組を強化する。
(ノーゲームテレビ親子読書の日)
- ・体験的なふるさと学習を通し、ふるさとを誇りに思い、愛する態度を育てる。
(地域教材、地域人材の活用、職員の研修)
- ・つながりを意識し大切にしたい、幼小、小小、小中等連携教育を推進する。